

高校生の学力・学習意欲

学力や学習意欲の低下についての調査結果がいくつか発表されている。その実態を把握し、学校と家庭の両面で今後の対策を考えていく必要があるようだ。

#01 OECD「学習到達度調査」結果の上位10カ国

日本の高1、読解力はトップ10から転落

順位	数学的リテラシー	読解力	科学的リテラシー	問題解決能力
1	香港	フィンランド(1)	フィンランド(3)	韓国
2	フィンランド(4)	韓国(6)	日本(2)	香港
3	韓国(2)	カナダ(2)	香港	フィンランド
4	オランダ	オーストラリア(4)	韓国(1)	日本
5	リヒテンシュタイン(14)	リヒテンシュタイン(22)	リヒテンシュタイン(24)	ニュージーランド
6	日本(1)	ニュージーランド(3)	オーストラリア(7)	マカオ
7	カナダ(6)	アイルランド(5)	マカオ	オーストラリア
8	ベルギー(9)	スウェーデン(9)	オランダ	リヒテンシュタイン
9	マカオ	オランダ	チェコ(11)	カナダ
10	スイス(7)	香港	ニュージーランド(6)	ベルギー
		14位 日本(8)		

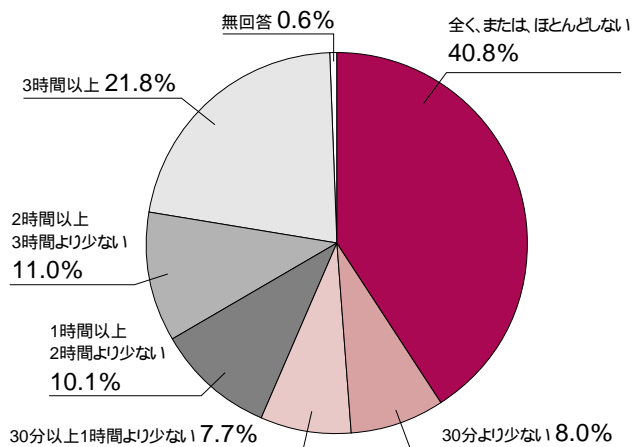
()は前回順位

41カ国・地域の15歳を対象に実施したOECD「学習到達度調査」で、日本は「科学的リテラシー」は前回同様2位だったものの、「読解力」が前回8位から14位に、「数学的リテラシー」は1位から6位にダウン。いずれも下位層の割合が増えた影響と分析される。今回初めて調査された分野をまたがる「問題解決能力」は4位と上位グループに入った。

「OECD生徒の学習到達度調査(PISA) 2003」

#02 高3が授業以外に勉強する時間

「授業以外の勉強を全くしない」が4割



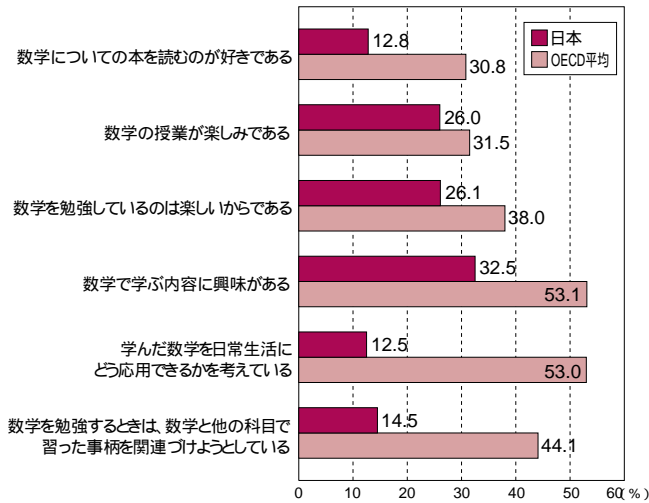
1日あたり

学校の授業以外に全く勉強をしない日本の高校3年生は4割にもものぼっている。一方で2割が1日3時間以上勉強しており、学習態度において大きな生徒間格差がみられる。

国立教育政策研究所「平成15年度高等学校教育課程実施状況調査」

#03 勉強への興味・関心

学ぶことの楽しさや意義を伝えているか？

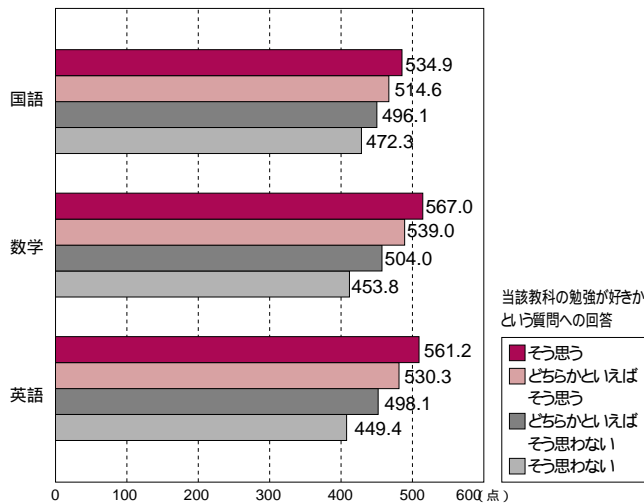


数学への興味・関心などに関するアンケート結果で、日本は多くの項目で低さが目立つ。「勉強しているのは楽しいから」「興味がある」などは10ポイント以上、「日常生活にどう応用できるかを考えている」については40ポイント以上も、日本はOECD加盟国平均より低かった。他の教科においても、生徒が勉強の楽しさや意義を感じながら学んでいるか、生活や他の科目への広がりも考えているか点検したい。

「OECD生徒の学習到達度調査(PISA)」、2003

#04 「好き」とペーパーテスト結果の関連

「好き」ほどペーパーテスト結果が良好



「その教科の勉強が好きだ」と思う生徒ほど、ペーパーテストの得点が高い傾向が確認された。また、「その教科の勉強が大切だと思う」生徒別、および「入学試験に関係なく大切だと思う」生徒別の得点状況についても同じような傾向がみられた。

国立教育政策研究所「平成14年度高等学校教育課程実施状況調査」